

## 応募規定

### 〈共通〉

- 小学4年生～高校3年生
- 同一部門での応募は、1人(1グループ)1点とする。
- 応募作品は自作のものとする。他の作品を模したものの、盗作や不適切な引用などがあった場合は、入賞後でも入賞を取り消しとする。全国規模のコンクールに応募した作品は応募不可。
- グループなど共同制作した作品の応募も可能。グループの人数制限はなし。クラス単位での応募も可能。  
グループでの応募の場合は、作品の巻末にグループ名と制作者全員の氏名、指導した先生名を明記し、指定の応募用紙・応募票の名前の欄にグループ名と制作に携わった人数を記入すること。
- PDFやJPEGなどの電子データで送付(紙でも受付可能。用紙のサイズ指定はなし)。
- 学校応募の場合、提出作品をフォルダにまとめ、フォルダを圧縮したzipファイルで提出すること(フォルダ名は学校名にすること)。
- 指定フォーマットの使用は自由。指定フォーマットを使用しない場合は、表紙に学校名、学年、氏名、作品名を記載すること。  
※指定フォーマットは下記をご参照ください。  
<https://www.obunsha.co.jp/gakkon/startup/>  
応募用紙を必ず添付してください。  
<https://www.obunsha.co.jp/gakkon/download.html>

### 〈企画書の送付先〉

- 用紙の場合  
〒162-8680 東京都新宿区横寺町55 株式会社 旺文社  
全国学芸サイエンスコンクール事務局「スタートアップ部門」
- 電子データの場合  
Eメール：68oubo@obunsha.co.jp  
※「スタートアップ部門」以外はEメールでの作品応募はできません。

### 〈テーマ〉

テーマ	①地域活性化ビジネス	②社会・環境問題解決ビジネス	③未来の学校・教育ビジネス	その他のテーマでのスタートアップアイデア
小学生の部	自分の住む町に「こんなお店があったらいいな」「こんな施設があったらいいな」「こんな街並みにしたい」など、自分がより魅力を感じる町、より大好きな町、より人に愛される町などを想像してください。 そのアイデアを実現するために課題を見つけ調べてみましょう。課題解決には何が必要(集客、ものの販売、サービスの提供など)かを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。	いま、世の中では何が起きているのか。日頃、自分が感じている疑問や不安に思うことなどを思い起こしてください。 その思い起こしたことを自分事として捉え、解決するには何が必要(集客、ものの販売、サービスの提供など)かを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。	「こんな学校だったらいいな」「こんな授業があるといいな」「こんなこと学びたいな」など、自分がより学べる、毎日通いたくなる、楽しくなる学校や学習法などを想像してください。そのアイデアを実現するために課題を見つけ調べてみましょう。課題解決には何が必要(集客、ものの販売、サービスの提供など)かを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。	①②③に属さない商品やサービス「こんなものがあったらいいな」「こんなサービスがあったらいいな」などを想像してください。 そのアイデアを実現するために課題を見つけ調べてみましょう。課題解決には何が必要(集客、ものの販売、サービスの提供など)かを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。
中学生の部 高校生部	自分の住む街をより良く活性化させるビジネスアイデアを創造しましょう。 そのアイデアを実現するための課題解決策や集客、ものの販売、サービスの提供、収益目標(構想・計画)などを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。	いま、世の中で起きている様々な問題を解決するためのビジネスアイデアを創造しましょう。 そのアイデアを実現するための課題解決策や集客、ものの販売、サービスの提供、収益目標(構想・計画)などを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。	みんなが通いたくなる(入学したくなる)素敵な学校モデルやより学べる仕組みや新しい学習法等のビジネスアイデアを創造しましょう。 そのアイデアを実現するための課題解決策や集客、ものの販売、サービスの提供、収益目標(構想・計画)などを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。	①②③に属さない商品やサービス「こんなものがあったらいいな」「こんなサービスがあったらいいな」等、ビジネスアイデアを創造しましょう。そのアイデアを実現するための課題解決策や集客、ものの販売、サービスの提供、収益目標(構想・計画)などを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。

## 審査基準

	一次審査(企画書) ※一次審査通過者のみ動画を提出する。	最終審査(動画)
小学生の部	着眼点、着想力、構成力、訴求力 着眼点：テーマが決まっている場合での着眼点は、企画内容の中での「目のつけどころ」を審査する。テーマが決められていても審査に影響はない。	プレゼンテーション力 (プレゼンテーションは5分以内)
中学生の部 高校生部	着眼点、着想力、構成力、訴求力、収益性 着眼点：テーマが決まっている場合での着眼点は、企画内容の中での「目のつけどころ」を審査する。テーマが決められていても審査に影響はない。	

## 応募締切から結果発表までのスケジュール

	9月	10月	11月	12月
応募期間	締切9月24日			
一次審査結果通知		10月下旬(予定)		
プレゼン動画提出期間			締切11月中旬(予定)	
最終審査			11月末(予定)	
結果発表				12月中旬(予定)